SHARP

# バックアップ / リストア
# 取扱説明書


パソコンの準備をする ..... 3

バックアップする ..... 4

リストアする ..... 6

使いやすいように設定を変更する ..... 7


Zaurus

この製品のバックアップ／リストアは、SL-C1000/SL-C3000/SL-C3100やSL-C860などでも使用することができます。

**SL-C3200/SL-C3100/SL-C3000のデータをバックアップするときとSL-C3200/SL-C3100/SL-C3000以外（SL-C1000やSL-C860など）のデータをバックアップするときでは、バックアップされるデータが違います。**
**SL-C1000やSL-C860などのときは、本体メモリーに保存しているデータや追加ソフトウェアなどをバックアップしますが、SL-C3200/SL-C3100/SL-C3000のデータをバックアップするときは、以下の内容をよく読んでください。**

バックアップ機能を使うと、SL-C3200本体に保存している次のデータをバックアップできます。
SL-C3100やSL-C3000のデータをバックアップするときは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

● **バックアップできるデータ**

・カレンダー　・アドレス帳　・ToDo
・メモ帳（「Memo」タブ※1）　・メール（本文）　・データベース
・追加したソフトウェア　・ネットワーク設定　・ユーザー辞書
・各種設定内容

※1：メモ帳（「Text」タブ）のデータは、バックアップされません。

これ以外のデータ（以下）は、バックアップ機能ではパソコンにバックアップできません。ザウルスドライブやUSBストレージ方式（☞『取扱説明書』の「ザウルスドライブ」）を使ってパソコンにコピーしてください。また、メモリーカードにコピーすることもできます。

・メモ帳（「Text」タブ）　・イメージノート
・NetFront（ブックマーク）　・ブンコビューアで表示できるデータ
・Music PlayerやMovie Playerで再生できるMP3やASFなどのファイル
・HancomSheetやHancomWordで作ったデータ
・コンテンツホーム画面に表示されるデータ（ファイル）
・ボイスレコーダーで録音した音声データ
・受信メールに添付された画像ファイルやExcelファイルなど（受信メールに添付されているファイルの保存先を変更（※2）するとバックアップされます）。
・広辞苑、ジーニアス英和・和英辞典、翻訳これ一本英日／日英辞書データ
・Text To Speechで保存したWAVファイルやTextファイル
・乗換案内で使う時刻表データ
など

※2：保存先を変更する方法は、『アプリケーションマニュアル.pdf』の2-97ページをご覧ください。

ご注意

- 乗換案内で使う時刻表データは、ハードディスク側に入っています。
  バックアップしたのちリストアしても、ハードディスク側の時刻表データをパソコンなどにコピーしておき、そのデータをザウルスに戻さないと乗換案内は使えません。
  ハードディスクの時刻表データがない場合、いったん乗換案内をアンインストール(☞『取扱説明書』203ページ)したのち、付属のインストールCD-ROMに収録されている乗換案内のipkソフトウェアをインストールすると、時刻表データがハードディスクにインストールされ使えるようになります。
- バックアップやリストアを行う前は、ザウルスのアプリケーションなどはすべて終了させておいてください。
- バックアップ/リストア中は、ザウルスを操作したり電源を切ったり、USBケーブルからザウルスを取り外さないでください。
- バックアップ/リストアを行うときは、ACアダプターを必ず接続してください。
- **バックアップ/リストアを行うときは、「PCリンク」画面の接続方式で「PC連携方式」を選んでください。くわしくは『アプリケーションマニュアル.pdf』「設定」の「PCリンク」をご覧ください。**

MEMO

- 本体ディスクや動作確認済みの市販のSDメモリーカード、コンパクトフラッシュメモリーカードにもバックアップできます。本体ディスクやメモリーカードへのバックアップについて、くわしくは『アプリケーションマニュアル.pdf』「設定」の「バックアップ/リストア」をご覧ください。
- この製品のバックアップ／リストアは、SL-A300には対応していません。

# パソコンの準備をする

バックアップするには、バックアップ／リストアなどをパソコンにインストールする必要があります。
インストールされた方は、次のページをご覧ください。
まだインストールされていない方は、『はじめにお読みください』をご覧になりインストールしてください。
これ以降、バックアップ／リストアなどをインストールしているものとして説明します。

MEMO

- **ソフトウェアをインストールしたときに「USB接続(ネットワーク)」を選択した場合は**

  『はじめにお読みください』をお読みになりソフトウェアをインストールしたときに、「USB接続(ネットワーク)」を選択した場合は、以下の操作を行ってください。

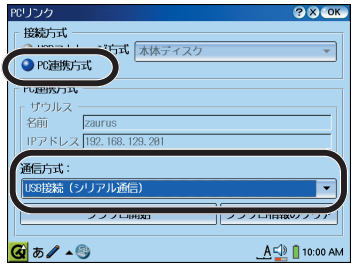
  ・ザウルス側の操作として、PCリンク画面を表示し、通信方式を「USB接続(ネットワーク)」に変更してください(☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「設定」の「PCリンク」)。
  ・パソコン側の操作として、ザウルス通信マネージャー(☞『ザウルスドライブ取説.pdf』)を表示し、通信方式が「USB接続(ネットワーク)」になっていることを確認します。

  なお、ソフトウェアをインストールしたときに「USB接続(シリアル通信)」を選択した場合は、通常、この操作は必要ありません。

# バックアップする

## パソコンと接続する前に

ザウルスのPCリンク画面（☞『アプリケーションマニュアル.pdf』「設定」の「PCリンク」）を表示し、画面上段の「接続方式」が「PC連携方式」、画面下段の「通信方式」は、別冊『はじめにお読みください』29ページの手順**7**で選択した方法を選びます。




**1** **ザウルスの電源を切ります。**

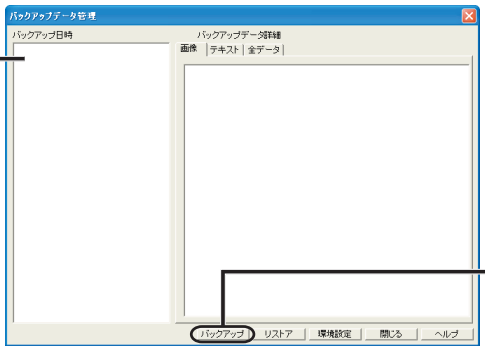
**2** **パソコンにザウルスを接続します。**
接続の方法は『取扱説明書』「基本的な使いかた」の「パソコンと接続する」をご覧ください。

**3** **ザウルスの電源を入れ、しばらく（約10〜15秒）待ちます。**

**4** **パソコンのデスクトップ上の（バックアップ／リストア）をダブルクリックします。**

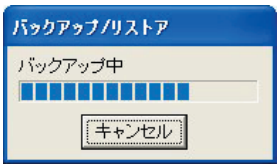
**5** **バックアップデータ管理画面で、［バックアップ］をクリックし、確認画面で［OK］をクリックします。**

すでにバックアップを行っていると、バックアップデータが表示されます。




［バックアップ］をクリックします。

しばらくして「バックアップ中」画面が表示され、ザウルスのデータがパソコンにバックアップされます（SL-C3200でバックアップできるデータについては2ページをご覧ください）。




**6** **バックアップが終了すると、この画面が消えます。**

バックアップしたデータは、環境設定画面（☞7ページ）で、「保存先ディレクトリ」に保存されます。

また、バックアップしたデータは、バックアップデータ管理画面に「（機種名）年月日時分秒」で表示されます（たとえばSL-C3200の場合は、「（SL-C3200）2006年11月30日15時35分1秒」）。

## 途中でバックアップをやめるには

［キャンセル］をクリックします。

ご注意
- バックアップしたデータは、削除しないでください。リストア（☞次ページ）できなくなります。
- バックアップしたデータをリストア（☞次ページ）するとき、他の機種にはリストアできません。

  たとえば、この製品のデータをバックアップして、そのデータをこの製品以外の機種にリストアすることはできません。
- SL-C3200ではプログラムエリアの空きが約2MB以下の状態では、バックアップできないことがあります。

  SL-C3200以外の機種については、それぞれの製品に付属のインストールCD-ROMに収録されている『バックアップ-リストア取説.pdf』をご覧ください。

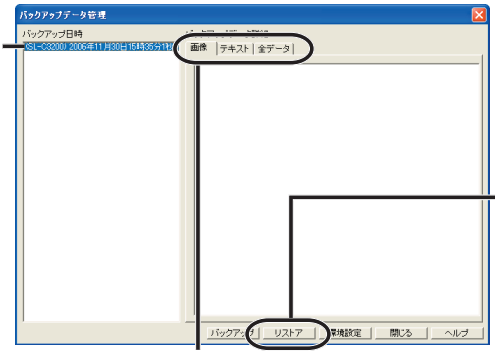
  バックアップできないときは、必要でないファイルなどを削除するなどして容量を空けてから行ってください。
- Movie Playerで動画を再生しているときは、バックアップ/リストアはできません。動画を停止してからバックアップ/リストアを行ってください。

MEMO
- バックアップをするときは、ザウルスのアプリケーションをすべて終了させてください。
- ザウルスにシークレットを設定しているときは、ザウルス通信マネージャーの暗証番号設定をすると自動的にザウルスのシークレットを解除して通信を行います。くわしくは『ザウルスドライブ取説.pdf』をご覧ください。
- パソコンの電源を切るときは、ザウルスの電源を切るかザウルスからUSBケーブルを取り外してからパソコンの電源を切ってください。

# リストアする

**1** **4ページの手順*1*～*4*と同様にして「バックアップデータ管理」画面を表示します。**

**2** **バックアップデータ管理画面で、リストアするバックアップデータ(年月日時分秒)をクリックして選択し、[リストア]をクリックします。**




バックアップしたデータが、それぞれ、(機種名)年月日時分秒で表示されます。

[リストア]をクリックすると、リストアが始まります。

SL-C3200/SL-C3100/SL-C3000以外(SL-C860など)のザウルスからバックアップしたデータの場合、画像タブには「Image_Files」フォルダ、テキストタブには「Text_Files」フォルダに入っていたデータのリストが表示されます。
全データタブは、バックアップした全データのリストです。

**3** **表示された画面で、[はい]をクリックし、確認画面で[OK]をクリックすると、リストアの前にバックアップを行います。そして、バックアップ完了後、リストアを行います。[いいえ]をクリックすると、リストアを行います。**

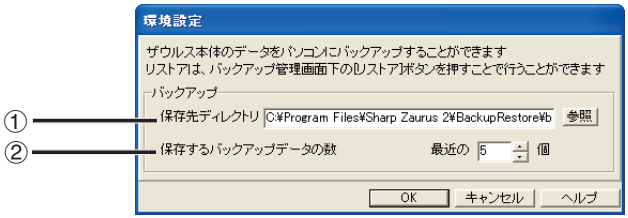
**4** **選択したバックアップデータがザウルスにリストアされます。**
「リストア中」画面が表示されリストアされます。
リストアが終了すると「リストア中」画面が消えます。またザウルス側は日付／時刻設定画面の後、ホーム画面が表示されます(日付／時刻設定画面が表示されるまでザウルスを操作しないでください)。

MEMO ● バックアップデータ管理画面に表示されるバックアップデータについて、次ページのメモをご覧ください。

ご注意 ● バックアップしたデータをリストアするとき、他の機種にはリストアできません。たとえば、この製品のデータをバックアップして、そのデータをこの製品以外の機種にリストアすることはできません。

# 使いやすいように設定を変更する

**1** **バックアップデータ管理画面で、[環境設定]をクリックします。**
「環境設定」画面が表示されます。




| | |
|---|---|
| **① 保存先ディレクトリ** | バックアップデータの保存先ディレクトリを設定します。バックアップすると、設定したフォルダに日時の名前がついたフォルダが自動的に作成され、その中にバックアップデータが保存されます。 |
| **② 保存するバックアップデータの数** | バックアップを行ったときに、パソコンに保存するバックアップデータの数を設定します。 |

**2** **設定の変更を終えたら、[OK]をクリックします。**

MEMO

- バックアップデータ管理画面に表示されるバックアップデータは、環境設定画面の「保存先ディレクトリ」に入っているデータです。
  環境設定画面で「保存先ディレクトリ」を変更してバックアップを行った後、変更前の保存先に入っているバックアップデータをリストアするときは、環境設定画面の「保存先ディレクトリ」を変更前のディレクトリにしてください。この操作を行わないと、バックアップ管理画面に、リストアしたいバックアップデータは表示されません。
  SL-C700やSL-B500用のバックアップ／リストアを使っていた場合、この製品のバックアップ／リストアでは、保存先ディレクトリが違います。
  以前、バックアップしていたSL-C700やSL-B500のデータをリストアするときは、保存先ディレクトリを変更してください。